

2019年度自己評価結果（放課後くらぶ・ぐ〜）

2020年2月13日公表

運営方針

住み慣れた地域で、家族とともに暮らし、様々な経験を通して、それぞれの力に応じた自立した青年期・成人期を迎えられるよう、①生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるように身体及び精神の状況並びにおかれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。②地域及び家庭との結びつきを重視し、他機関との連携を密に行えるように努めます。③本人や家族の困りごとに対して、意思や人格を尊重し適切に応えることができるように努めます。

また、障害特性・発達年齢に配慮しつつも生活年齢（実際の年齢）を大切にされた相応の関わりを大切にします。

主な支援内容

下校時間も利用の終了時間も大きく違い、また年齢も小学1年生から高校3年生までを対象としていることから、一斉に同じことをすることはほとんどありません。それぞれの療育目標に合わせた取り組みを行っています。

“一人で勉強する、遊ぶ”と、“複数人で遊ぶ”の両方を提供することで、一人で時間を過ごせることと、他人と協調して時間を過ごせること、その両方を学ぶ機会を大事にしています。

職員配置状況

利用定員15名に対して制度上必要な人員配置は児童発達支援管理責任者1名と1営業日あたり3名です。

本年度は、以下のように配置しています。

管理者 兼	児童発達支援管理責任者	1名	（行動援護従事者養成研修受講済み）
児童指導員	常勤専従	4名	（内、1名行動援護従事者養成研修受講済み 2名強度行動障害支援者養成研修基礎研修受講済み）
	非常勤専従	2名	（内、1名行動援護従事者養成研修・強度行動障害 支援者養成研修基礎研修・実践研修受講済み）
保育士	非常勤専従	1名	

放課後等デイサービス保護者向け評価アンケート集計結果

実施期間	2019年12月
実施方法	各保護者に趣旨を説明した依頼文とアンケート用紙を配布した。 回答用紙は、玄関に設置した回収ボックスに投函していただいた。
回収結果	11月末現在の放デイ契約者33名のうち、現在利用のない6名と兄弟利用の保護者を1名とカウントし、26名の保護者にアンケートを配布、12名から回答があった。(回収率46%)
回答方法	当てはまるところに○をつける (①はい・②どちらともいえない・③いいえ) 自由記載

評価結果

<環境・体制整備>

(1) 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

①6人 ②5人 ③1人

子どもたちが過ごしている普段の中の様子を見ていないのでわからない。

(2) 職員の配置数や専門性は適切であるか

①9人 ②3人 ③0人

普段の活動の様子がわからないのでよくわからないところがある。

(3) 事業所の設備等はバリアフリー化の配慮が適切になされているか

①7人 ②5人 ③0人

<適切な支援の提供>

(4) 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されて上で放課後等デイサービス計画が作成されているか

①10人 ②2人 ③0人

(5) 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

①8人 ②4人 ③0人

そこまで、把握できていない。

<保護者への説明等>

(6) 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか

①11人 ②1人 ③0人

(7) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか

①10人 ②2人 ③0人

(8) 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか

① 9人 ② 1人 ③ 2人

もっと面談の機会はあったほうがいい。

子どもの成長に合わせてその都度「何がもっとできるようになったらいい」等教えてほしい。

(9) 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

① 4人 ② 3人 ③ 5人

迎えに行った時の玄関先やスーパー等であった時に気軽に声をかけてもらったりするので、本格的な保護者会でなくていいのでおしゃべりできる機会が欲しい。

(10) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

① 8人 ② 3人 ③ 1人

苦情を申し立てるようなこともないので、解らない。

(11) 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか

① 10人 ② 2人 ③ 0人

(12) 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか

① 10人 ② 1人 ③ 1人

通信、毎月必ず読ませていただいています。

(13) 個人情報に十分注意しているか

① 10人 ② 2人 ③ 0人

<非常時の対応>

(14) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

① 7人 ② 3人 ③ 2人

(15) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

① 4人 ② 6人 ③ 2人

<満足度>

(16) 子どもは通所を楽しみにしているか

① 10人 ② 2人 ③ 0人

頼りにしている。

(17) 事業所の支援に満足しているか

① 10人 ② 2人 ③ 0人

温かいご指導に感謝しております。

心を開きすぎて凶々しくなってしまうりましたが、本当の姿を出してくれた分、叱っていただいたり教えていただいたりしてもらえてよかったと思っています。

事業所における自己評価結果

① はい ② どちらともいえない ③ いいえ

A)工夫している点 B)課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標

<環境・体制整備>

(1) 利用定員が指導訓練室等のスペースの関係で適切であるか

① 6名 ② 2名

A) 学習エリア、遊びのエリア等のエリア分けをして活動をわかりやすくしている。

(2) 職員の配置数は適切であるか

① 7名 ② 1名

(3) 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮は適切になされているか

① 5名 ② 3名

A) 今の利用者さんたちに対しては問題なし。

B) 手すりは玄関前から中まで途切れなく設置しているが、今後歩行困難な方が利用するようになれば、利用者の方に合わせた対応をする。

<業務改善>

(4) 業務改善を図るための PDCA サイクルに広く職員が参画しているか

① 3名 ② 5名

B) 見直し、改善する予定でいる。

(5) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか

① 8名

(6) この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか

① 7名 ② 1名

B) ホームページのみの公開で、会報ではしていない。日頃の活動の様子なども掲載しているのでこれまで以上にホームページを見ていただけるような発信が必要。

(7) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

① 0名 ② 6名 ③ 2名

B) 第三者委員の方を、困った時の相談だけでなく活用していきたい。

(8) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

① 8名

<適切な支援の提供>

(9) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスを作成しているか

① 3名 ② 5名

B) 本年度の研修で学んだことを活かし、より良い計画を立てるべく改善中

(10) 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

① 3名 ② 4名 ③ 1名

B) 新年度からの対応に向け、これまでよりも解りやすく使いやすいアセスメントツールに変更した。

(11) 活動プログラムの立案をチームで行っているか

① 2名 ② 6名

A) それぞれの得意分野を活かしてプログラムの提案は行っている。

B) どのスタッフも、提案をプログラムに落とし込めるよう力をつけていきたい。

(12) 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

① 6名 ② 2名

A) 教材・おもちゃ等を1～2か月おきに入れ替え等を行って、飽きさせない工夫や次のステップへの移行がスムーズにできるようにしている。

(13) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

① 2名 ② 6名

B) 一人一人の特性や利用時間（開始と終了）を踏まえた設定をしている。

長期休暇中の設定は時間と特性を始めとした様々な制約の中で設定しているので、もっといろいろなことを、と思ってもなかなかできないことが課題。

(14) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

① 6名 ② 2名

(15) 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

① 7名 ② 1名

(16) 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返

りを行い、気づいて点を共有しているか

① 0名 ② 8名

A) 利用者さんの送迎やスタッフのシフトの関係で支援終了後には出来ないの
でその分を支援開始前に行っている。終了後に急ぎ打ち合わせた方がいい事
案が発生した場合は、時間外で行う事としている。

(17) 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につな
げているか

① 2名 ② 6名

A) 度々、なぜ記録が必要なのかについてスタッフ間で確認をしあっている。

B) もっと支援に活かせるよう今よりもさらに適切な記録を取れるように改善
を図っている。

(18) 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判
断しているか

① 6名 ② 2名

(19) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか

① 3名 ② 5名

B) 行ってはいるが、総則を読んで…という部分で、スタッフ全員に周知が足
りていないと思われる。改めて周知する。

<関係機関や保護者との連携>

(20) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も
ふさわしいものが参画しているか

① 7名 ② 1名

(21) 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか

① 7名 ② 1名

(22) 医療的ケアが必要な児童について

現在、利用される方がいないので、回答できない

(23) 就学前に利用していた機関との間で情報共有と相互理解に努めているか

① 5名 ② 3名

B) 必要に応じて行っているが、保護者や相談支援専門員から教えていただく
ことが多くなっている。誰に対しても出来れば良いとは考えている。

(24) 学校を卒業し、障害福祉事業所に移行する場合に情報を提供する等しているか

① 4名 ② 4名

A) 求められた時には、速やかに情報提供を行っている。

(25) 専門機関と連携し助言や研修を受けているか

① 6名 ② 1名 その他無回答 1名

(26) 障害のない子どもと活動する機会はあるか

① 1名 ② 1名 ③ 6名

B) ほぼないのが現状である。他の放デイ事業所で、どのようにしているのかを教えていただきたい。

(27) 地域自立支援協議会等に積極的に参加しているか

① 4名 ② 4名

A) 案内があれば、子ども部会には必ず参加している。

B) 自立支援協議会には、発信したいことも時折あるが直接発信することができず、相談支援事業所を通してお願いする形になっているので大変さが伝わらないこともある。

(28) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか

① 8名

(29) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか

① 4名 ② 3名 ③ 1名

A) ペアレントトレーニングを実施している事業所の紹介等を行っている。

B) 系統立てたペアトレではないが、子どものこういう行動にはこういう対応を、と理由も含めて具体的な親の対応の仕方等の支援は必要に応じて行っている。

<保護者への説明責任等>

(30) 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

① 5名 ② 3名

B) 利用契約時は一度にたくさんの内容を説明しているので抜けてしまうことも多いようだ。契約時の他に少しずつの説明を改めて行う事を考えたい(保護者アンケートから)。

(31) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

① 6名 ② 2名

B) 充分に行っているつもりではあったが、保護者へのアンケートから、もっと細かい対応を望んでいる保護者の存在も確認された。更にきめ細かい対応を考えていきたい。

(32) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

② 5名 ③ 3名

B) 保護者会等を設置していない。就労している保護者がほとんどで開催したとしても参加が見込めない。(いろいろな立場の保護者に訊いたところ、学校の

集まりだけで手いっぱい、これ以上は日中の休みは取りにくい、夜の集まりは子どもを見てくれる人がいない、等の後ろ向きな意見が多かった。) 一方でアンケートの結果からは求める姿も感じられるので、開催に向けて考えていきたい。

- (33) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか

① 8名

B) ほぼ苦情はない状況ではあるが、言えない保護者もいる、という視点を忘れずに苦情が言いやすい雰囲気作りは、これからも続けていきたい。

- (34) 定期的に会報等を発行し情報を子どもや保護者に対して発信しているか

① 8名

A) タイムリーな発信としてホームページにブログを載せている。

B) ホームページ・ブログの存在は折に触れお伝えしているが、浸透していない感がある。更に伝えていきたい。

- (35) 個人情報に十分注意しているか

① 8名

- (36) 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮はしているか

① 7名 ② 1名

- (37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

① 6名 ② 1名 ③ 1名

A) 行事はないが、地域のいきいきサロンに会場を提供している。それにより地域の高齢者の方に身近な存在になってほしいと願っている。

<非常時等の対応>

- (38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

① 4名 ② 4名

B) (30) 同様に、何度も発信をしていきたい。

- (39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか

① 4名 ② 4名

A) 子どもたちの特性等も考えて、大々的ではなく行っている。

- (40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

① 8名

- (41) 身体拘束について組織的に決定し、事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか

① 4名 ② 4名

B) “決定・説明・了解・計画に記載”は必要に応じて行っている。が、身体

拘束はしないことを前提に支援を組み立てているのでスタッフには身体拘束をする場合も有りうる、という認識がない。

(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

① 4名 ② 4名

B) 食物アレルギーについては、来年度のプロフィールから従来よりもさらに細かい記載を保護者にお願ひし、必要に応じて医師の指示書も準備していただくこととしたい。

(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

① 5名 ② 3名

A) 事例集だけでなく、その都度、打ち合わせ、ミーティング等でも話しをしてより共有しやすくなるよう工夫をしている。

